

KENWOOD

DVD/CD-MP3オートチェンジャー

VD-C77

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

ディスクを入れる

基本的な再生方法

いろいろな再生方法

時間の表示

リストの操作

初期設定

センターユニットから操作する

使いこなし!

操作方法

ここさえ読めばひとまずOK!

主な操作

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター (東京) 電話(03)3477-2801 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間 9:00~18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。



(操作について)
(DVDについて)
(MP3について)
(用語について)

困ったときは

操作方法

主な操作

© B64-2290-00/01 (J)
2RR6P10A13900

目次

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた4

安全上のご注意6

使用上のご注意8

ディスクの取り扱い10

ここさえ読めばひとまずOK!

主な操作

.....12

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら...
困ったときのお助けページ!

困ったときは

困ったときは（操作について）.....40

困ったときは（DVDについて）.....44

困ったときは（MP3について）.....45

困ったときは（用語について）.....46

付 録

取り付け時のご注意48

接続50

取り付け52

保証とアフターサービス58

仕様一覧59

操作方法

ディスクを入れる14

- ・ディスクをマガジンに入れる
- ・マガジンを挿入する
- ・マガジンを取り出す

基本的な再生方法16

- ・リモコンの電池の入れかた
- ・電源を入れる／再生を始める
- ・電源を切る
- ・一時停止
- ・停止
- ・再生する曲／チャプターを切り替える
- ・再生するディスクを切り替える
- ・フォルダーを切り替える
- ・ディスクを直接選ぶ（ダイレクトディスクサーチ）
- ・トラック／チャプターを直接選ぶ（ダイレクトトラック／チャプターサーチ）
- ・再生したい場所を直接選ぶ（GOTOサーチ）

いろいろな再生方法20

- ・早送りと早戻し
- ・スロー再生
- ・コマ送りとコマ戻し
- ・トラックスキャン
- ・ランダム再生
- ・繰り返し再生する
- ・DVDのメニューを使う
- ・音声言語切り替え
- ・字幕の言語切り替え
- ・映像アングルの切り替え
- ・ボーカル音声の切り替え
- ・画面を拡大表示する
- ・タイトル情報表示
- ・PBC（プレイバックコントロール）を使う
- ・PBC（プレイバックコントロール）機能を設定する

時間の表示26

- ・再生時間の表示切り替え

リストの操作27

- ・リスト画面の操作
- ・オーディオCDのトラックリスト画面の操作
- ・MP3のファイルリスト画面の操作

初期設定30

- ・初期設定
- ・言語設定
- ・言語選択画面
- ・言語コード表
- ・オーディオ設定
- ・画面設定
- ・パレンタル設定

センターユニットから 操作する

センターユニットから操作する36

- ・再生を始める
- ・一時停止
- ・再生するディスクを切り替える
- ・再生する曲／チャプターを切り替える
- ・早送りと早戻し
- ・フォルダーを切り替える
- ・トラックスキャン
- ・繰り返し再生する
- ・ランダム再生
- ・マガジンランダム再生
- ・再生したい場所を直接選ぶ（ダイレクトトラックサーチ）
- ・ディスクを直接選ぶ（ダイレクトディスクサーチ）
- ・ディスク名前プリセット（DNPS）

ディスクを入れる

基本的な再生方法

いろいろな再生方法

時間の表示

リストの操作

初期設定

センターユニットから操作する

困ったときは

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたを大きく次の3つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!

主な操作

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。

ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし!

操作方法

すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

センターユニットから操作する

本機をセンターユニットに接続して、センターユニットから操作できる機能の使いかたを説明しています。

困ったときは

- (操作について) 思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。
- (DVDについて) プレイできるDVDのメディアやディスクマークを説明しています。
- (MP3について) プレイできるMP3ファイルのメディアやそのフォーマットの説明をしています。
- (用語について) 取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

本機の取り付け方法などを説明した【付録】があります。

- 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
- このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて

ジョイスティックを動かす

ジョイスティックを動かす方向を矢印で表します。



イラストの場合は、ジョイスティックを上下左右に動かします。

短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



1秒以上押す

1秒以上押す操作を表しています。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。



注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

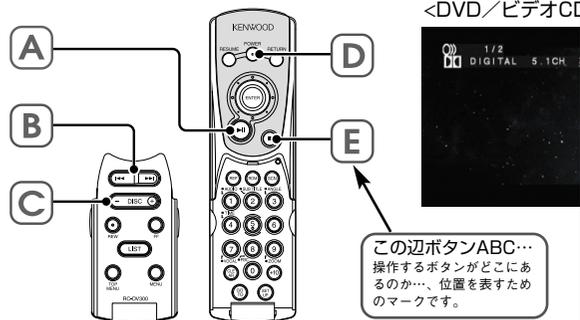


メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

操作方法

基本的な再生方法

基本の再生方法



この辺ボタンABC...
操作するボタンがどこにあるのか...、位置を表すためのマークです。

電源を入れる／再生を始める



- 最新のディスクの再生が始まります。
- フロント映像出力は、パーキングブレーキをトシないで映像を出力しません。
- MP3を記録したディスクはメディアを確認し、再生が始まるまで若干の時間がかかります。

早送りと早



押すたびに次のディスクアイコン DVD、ビデオCDなどディスクにより機能することを表します。

画面を拡大表示する

1 ズーム倍率を替える



押すたびに次のように替わります。

倍率	表示
1.5倍	"ZOOM X1.5"
2倍	"ZOOM X2"
4倍	"ZOOM X4"
オフ (通常)	"ZOOM OFF"

- リスト画面を表示中は操作できません。リスト画面を閉じてください。

2 表示位置を動かす



- ズーム倍率をオフに設定すると表示位置を動かすことはできません。

ディスプレイ表示ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

操作方法

ディスクを入れる
基本的な再生方法
いろいろな再生方法

時間の表示

リストの操作

初期設定

センターユニットから操作する

主な操作

困ったときは

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



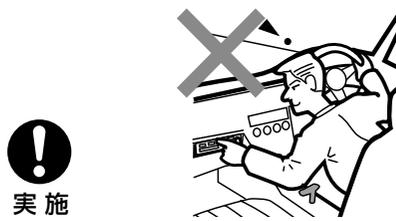
実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクやカセットの挿入・取り出しなど）
- DVDやビデオを見る。



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。

使用上のご注意

本機は、単体でもモニターやオーディオ機器に接続するとDVDを楽しむことができます。

また、ケンウッド製センターユニットに接続すると、センターユニットから操作でき、音を出すことができます。

以下、本機に接続できるケンウッド製センターユニットを“センターユニット”と言います。

本機に接続できるセンターユニットについて

センターユニット（CDレシーバーなど）が“O-Nスイッチ”の“N”に対応している機器に接続することができます。

センターユニットの取扱説明書には、“O-Nスイッチ”を“N”に設定するように記載されていますが、本機は“N”専用機ですので“O-Nスイッチ”はありません。

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”を使用すると“N”に対応していないディスクチェンジャーコントロール付きセンターユニットにも接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「困ったときは」(40ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。

センターユニットに接続している場合はセンターユニットのリセットボタンをペン先などで押してください。

正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

レンズクリーナーについて

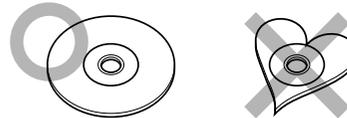
レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、取り出せなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

使用できないディスク

8cmCD/DVDは使用できません。8cmCDはアダプターを付けても使用することはできません。

8cmCD/DVDを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

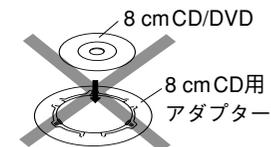
レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

DVD/CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用しないでください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



ディスクの取り扱い

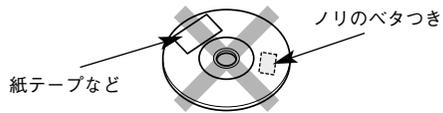
ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCD/DVDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。



ディスクの保存

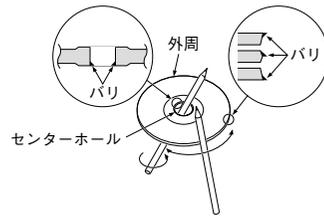
直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高い場所には置かないでください。

●
長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。

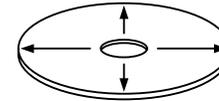
"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



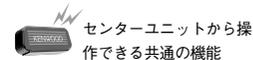
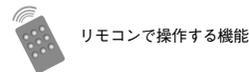
ディスクのお手入れ

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



主な操作



- 電源を入れて、ディスクを再生する**
 [POWER]ボタンを押します。
 電源が入り、ディスクの再生が始まります。
 センターユニットのソース選択 ([SRC]ボタン) で本機のチェンジャーモードを選択します。
 本機のチェンジャーモードは“CD-CH” / “DISC” / “AUX” などと表示されます。
- 再生するディスクを選択する**
 [DISC+]または[DISC-]ボタンを押します。
- トラック/チャプター/ファイルを切り替える**
 [◀]または[▶]ボタンを押します。
 DVD チャプターが順に替わります。
 VCD PBC ON: セレクトが順に替わります。
 PBC OFF: トラックが順に替わります。
 CD トラックが順に替わります。
 MP3 ファイルが順に替わります。
- 再生を一時停止する** DVD VCD CD
 [⏸]ボタンを押すと一時停止します。
 もう一度押すと通常再生に戻ります。
- 再生を停止する** DVD VCD CD
 [■]ボタンを押すと現在の位置を記憶して停止します。
 もう一度押すと記憶した位置を消去します。
 ●再生位置を記憶しているときに、[⏸]ボタンを押すと続きから再生します。
 ●ディスクによっては操作できない場合があります。
- 電源を切る**
 [POWER]ボタンを押します。
 センターユニットのソース選択 ([SRC]ボタン) で本機以外のソースモードを選択します。または、センターユニットの電源を切ります。

DVDの主な操作

- 音声言語を切り替える
[1 (AUDIO)]ボタンを1秒以上押します。
- 字幕の言語を切り替える
[2 (SUB TITLE)]ボタンを1秒以上押します。
- 映像アングルを切り替える
[3 (ANGLE)]ボタンを1秒以上押します。
- DVDのメニューを使う
1. [MENU]ボタンを押すとDVDメニューを表示します。[TOP MENU]ボタンを押すとタイトルメニューを表示します。
2. ジョイスティックまたはナンバーボタンを押して、メニューアイテムを選択します。
3. [ENTER]ボタンを押して、メニューアイテムを決定します。

MP3の主な操作

- フォルダーを順に替える
1. [▶]または[■]ボタンを押して、再生を停止します。
2. [DISC+]または[DISC-]ボタンを押します。フォルダーが順に替わります。
3. [▶]ボタンを押して、再生を始めます。

```

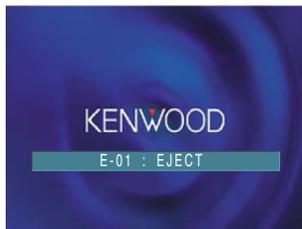
    graph TD
        L1[レベル1] --- L2[レベル2]
        L1 --- L3[レベル3]
        L1 --- L4[レベル4]
        L2 --- F1[フォルダー]
        L2 --- F2[フォルダー]
        L2 --- F3[フォルダー]
        L3 --- F4[フォルダー]
        L3 --- F5[フォルダー]
        L4 --- F6[フォルダー]
        L4 --- F7[フォルダー]
        L4 --- F8[フォルダー]
    
```

CD MP3 リスト画面で再生する曲を選ぶ

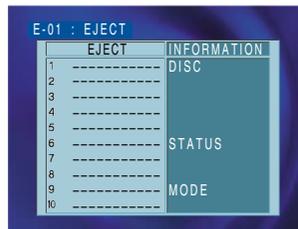
画面を見ながら操作するときは、リスト画面に切り替えるとトラック (CD) やファイル、フォルダー (MP3) を簡単に指定することができます。操作方法は27ページをご覧ください。

- ディスクを入れる
- 基本的な再生方法
- いろいろな再生方法
- 時間の表示
- リストの操作
- 初期設定
- センターユニットから操作する

<イジェクト中のOSD画面>



<イジェクト中のリスト画面>



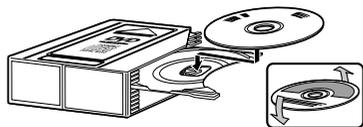
ディスクをマガジンに入れる

1 マガジンのトレイを引き出します



ロゴを上にして、トレイのツメを持って引き出します。

2 トレイにディスクを置きます



ディスクの記録面を上にしてトレイに置きます。(レーベル面を下にします。)

- 各トレイにはディスクを1枚のみ置いてください。
- 8cmのディスクは使用できません。8cmディスクアダプターを使っても使用できません。使用するご故障やディスクの破損の原因となります。

3 トレイをマガジンに戻します



トレイがロックするまで戻します。

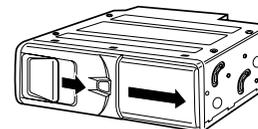
ディスクナンバーについて



ロゴを上にして、トレイの上から順に“ディスク1”から“ディスク10”になります。

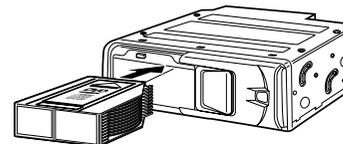
マガジンを挿入する

1 ドアを開きます



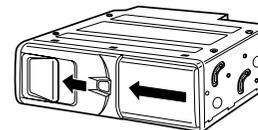
ドアは2段階に開きますので、完全に開いてください。

2 マガジン挿入します



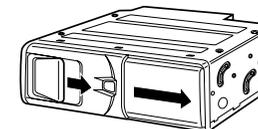
マガジンをロックするまで押し込みます。

3 ドアを閉じます



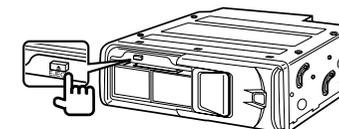
マガジンを取り出す

1 ドアを開きます



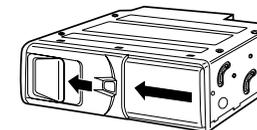
ドアは2段階に開きますので、完全に開いてください。

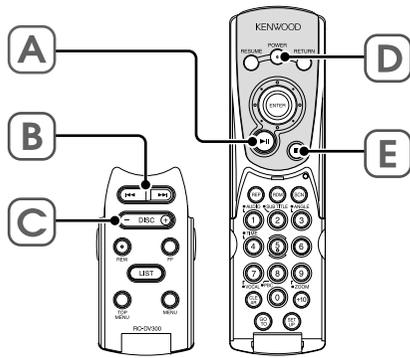
2 マガジンを取り出します



押すとマガジンが出てきますので、マガジンを取り出してください。

3 ドアを閉じます





<DVD/ビデオCDのOSD画面>



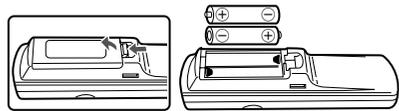
<オーディオCDのOSD画面>



<MP3のOSD画面>



リモコンの電池の入れかた



付属の乾電池（単四型2本）を十／一の向きを正しく合わせて入れてください。

リモコンは、ブレーキ操作などにより落ちない場所に置か、付属のホルダーを使用して固定してください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。

- 乾電池の向きは正しく合わせてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池を交換するときは、2本同時に交換してください。

電源を入れる／再生を始める



最初のディスクの再生が始まります。

- フロント用ビデオ出力は、パーキングブレーキをセットしないと映像を出力しません。
- MP3を記録したディスクはメディアを確認するため、再生が始まるまで若干の時間がかかります。

電源を切る



センターユニットで本機のソースモードを選択するとセンターユニットに連動して動作します。

- センターユニットが本機のソース選択前
 - リモコンで電源をオン／オフします。
- センターユニットが本機のソース選択後
 - 本機のソースモードを選択すると電源が入ります。
 - 本機のソースモード以外を選択すると電源が切れます。
 - リモコンでは電源を切ることはできません。

一時停止



もう一度押すと通常の再生に戻ります。

- ディスクによっては動作しない場合があります。
- MP3ファイルを再生時は「フォルダーを切り替える」モードになります。（17ページ）

停止

1 再生を停止します



現在の位置を記憶して再生が停止します。

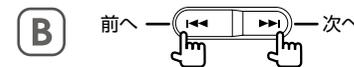
- この状態で (A) (M) を押すと続きから再生します。
- ディスクによっては操作できない場合があります。
- MP3ファイルを再生時は「フォルダーを切り替える」モードになります。（17ページ）

2 記憶した位置を消去する



もう一度押すと記憶した位置を消去します。次に再生するときは初めから再生します。

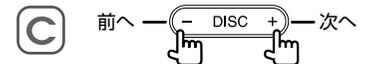
再生する曲／チャプターを切り替える



押すたびに次のように替わります。

ディスク	動作
DVD	チャプターが順に替わります
ビデオCD[PBC ON]	セレクトが順に替わります
ビデオCD[PBC OFF]	トラックが順に替わります
オーディオCD	
MP3	ファイルが順に替わります

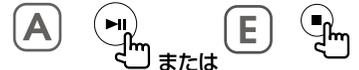
再生するディスクを切り替える



押すたびにディスクが順に替わります。

フォルダーを切り替える

1 フォルダー選択モードにします



2 フォルダーを切り替えます

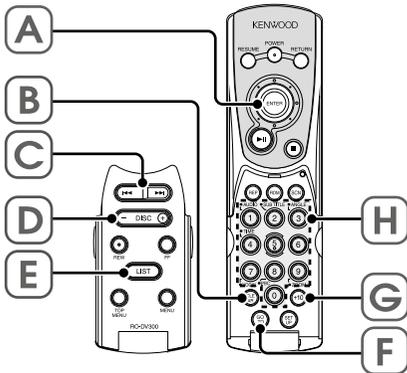


押すたびにフォルダーが順に替わります。

3 フォルダーを決定します



選択したフォルダーの1曲目のファイルから再生します。



<DVD/ビデオCDのOSD画面>



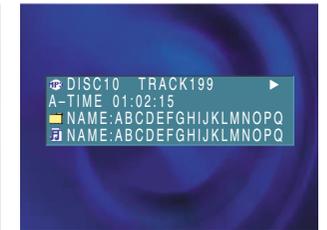
<ディスクリスト画面>



<オーディオCDのOSD画面>



<MP3のOSD画面>



ディスクを直接選ぶ (ダイレクトディスクサーチ)

1 リスト画面に切り替えます



オーディオCD、MP3を再生中は、リスト画面に切り替えなくても操作できます。

2 ディスクナンバーを入力します



入力した数字を消すには…



3 ディスクを探します



トラック/チャプターを直接選ぶ (ダイレクトトラック/チャプターサーチ)

1 リスト画面に切り替えます



オーディオCD、MP3ファイルを再生中は、リスト画面に切り替えなくても操作できます。

2 再生したいナンバーを入力します



ディスク	ナンバー入力
DVD	チャプターナンバーを入力します
ビデオCD	トラックナンバーを入力します
オーディオCD	ます
MP3	ファイルナンバーを入力します

2桁以上を入力する場合は、G (10) を押します。

入力した数字を消すには…



3 トラック/チャプターを探します



再生したい場所を直接選ぶ (GOTOサーチ) (VCD CD)

ビデオCD[PBC OFF]のとき操作できます。

1 サーチモードにします



DVDはタイトル/チャプターナンバーまたはタイトル経過時間を指定します。
ビデオCD、オーディオCDはディスク経過時間を指定します。

2 サーチモードを選びます (DVDのみ)



押すたびに次のように替わります。

サーチモード	表示
タイトル/チャプター入力	"T. **/ ** C. **/ **"
再生時間入力	"TIME _: _: _"

タイトル/チャプター入力モード中はジョイスティックを左右に動かすと入力するモードをタイトルとチャプターに切り替えることができます。

3 再生したい場所を入力します



DVDの入力例:チャプター13の場合

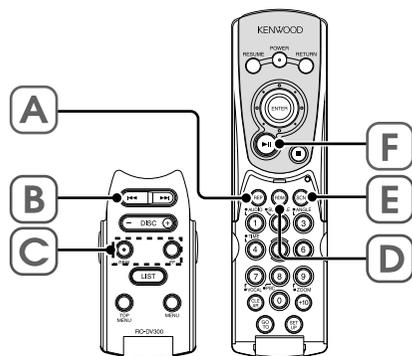
"T02/05 C005/030": (10) (3)

オーディオCDの入力例:1時間23分45秒の場合

"GOTO _: _: _": (0) (1) (2) (3) (4) (5)

4 指定した場所から再生します

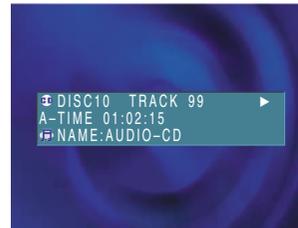




<DVD/ビデオCDのOSD画面>



<オーディオCDのOSD画面>



<MP3のOSD画面>



早送りと早戻し



押すたびに次のように替わります。

速度	表示
2倍速	"---<<<"/">>>---
4倍速	"---<<<"/">>>---
6倍速	"---<<<"/">>>---
8倍速	"---<<<"/">>>---

● 早送り/早戻し中は、DVDとビデオCDの音声は出力されません。オーディオCDは8倍速のとき、音声は出力されません。

スロー再生

1 再生を一時停止します



2 スロー再生にします



押すたびに次のように替わります。

速度	表示
1/6倍速	"---<<<"/">>>---
1/4倍速	"---<<<"/">>>---
1/2倍速	"---<<<"/">>>---

● ビデオCDではスロー戻し再生はできません。
● ビデオCDをPBC機能オフで再生している場合は、トラックが変わるとスロー再生は解除されます。

通常再生に戻すには…

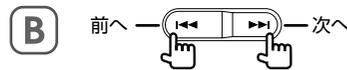


コマ送りとコマ戻し

1 再生を一時停止します



2 コマ送り/コマ戻し再生します



通常再生に戻すには…



トラックスキャン

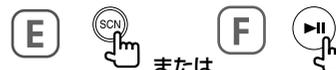
ディスク内のトラックの先頭を約10秒間ずつ次々と再生します。
ビデオCDはPBC機能オフのとき操作できます。

1 スキャンを開始します



1曲目からスキャンを開始します。

2 聴きたい曲のところで…



通常の再生に戻ります。

ランダム再生

ビデオCD[PBC OFF]、オーディオCDはディスク内のトラックをMP3はフォルダー内のファイルをランダムな順に再生します。



押すたびにランダム再生がオン/オフします。

● を押すと次の曲をランダムに選曲します。
● を押すと現在の曲を最初から再生します。

繰り返し再生する

ビデオCDはPBC機能オフのとき操作できます。



押すたびに次のようにモードが替わります。

DVDの場合

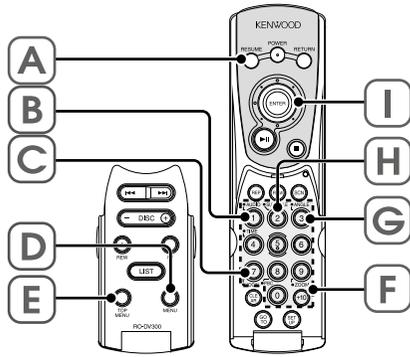
動作	表示/インジケータ
チャプターリピート	"CHAPTER REPEAT"/"CREP"
タイトルリピート	"TITLE REPEAT"/"TREP"
通常再生 (オフ)	"REPEAT OFF"/消灯

ビデオCD[PBC OFF]、オーディオCDの場合

動作	表示/インジケータ
トラックリピート	"REPEAT"/"REP"
通常再生 (オフ)	"REPEAT OFF"/消灯

MP3の場合

動作	表示/インジケータ
ファイルリピート	"FILE REPEAT"/"REP"
フォルダーリピート	"FOLDER REPEAT"/"FREP"
通常再生 (オフ)	"REPEAT OFF"/消灯



<DVD/ビデオCDのOSD画面>



音声言語アイコン



字幕アイコン



映像アングルアイコン

DVDのメニューを使う

タイトルメニュー/ルートメニューが記録されているDVDで使用できます。

1 メニューを表示します

メニュー (DVDメニュー) を表示する



トップメニュー (タイトルメニュー) を表示する



2 アイテムを選択します



3 アイテムを決定します



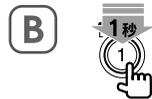
メニュー操作についてはディスクの取扱説明書をご覧ください。

メニューを解除するには...



音声言語切り替え

複数の音声言語が収録されている場合、音声言語を選択できます。



1秒以上押すたびに音声言語が順に替わります。

ディスクによっては切り替えることができません。この場合は、DVDメニューまたは初期設定で切り替えてください。

字幕の言語切り替え

字幕が1つまたは複数言語が収録されている場合、字幕の表示のオン/オフや言語を選択できます。



1秒以上押すたびに字幕の言語が順に替わります。

- ディスクによっては切り替えることができません。この場合は、DVDメニューまたは初期設定で切り替えてください。
- リスト画面を表示中は操作できません。リスト画面を閉じてください。(27ページ)

映像アングルの切り替え

映像アングル (角度) が複数収録されている場合、アングルを選択できます。



1秒以上押すたびにアングルが順に替わります。

ディスクによっては切り替えることができません。この場合は、DVDメニューで切り替えてください。

ボーカル音声の切り替え

カラオケDVDやビデオCD、オーディオCDの再生音声 (ボーカル) を切り替えます。



1秒以上押すたびに次のように再生音声が変わります。

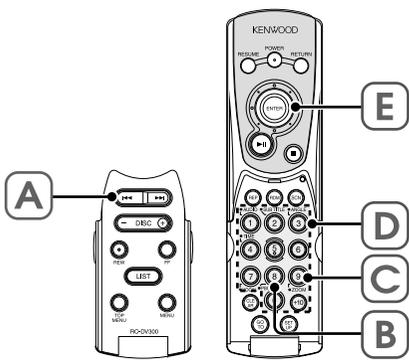
カラオケDVDの場合

表示	設定
"LEFT VOCAL"	ボーカルパート左
"RIGHT VOCAL"	ボーカルパート右
"BOTH VOCAL"	ボーカルパート左/右
"MIX VOCAL"	ボーカルパート左+右
"NO VOCAL"	ボーカルパートオフ

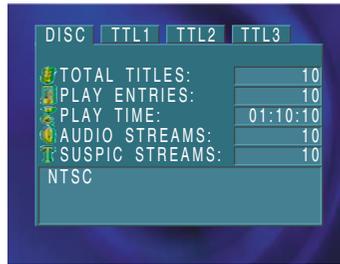
リスト画面を表示中は操作できません。リスト画面を閉じてください。(27ページ)

ビデオCD、オーディオCDの場合

表示	設定
"MONO LEFT"	モノラル左 (L/L)
"MONO RIGHT"	モノラル右 (R/R)
"STEREO"	ステレオ (L/R)



<タイトル情報画面>



画面を拡大表示する

1 ズーム倍率を替える



1秒以上押すたびに次のように替わります。

倍率	表示
1.5倍	"ZOOM X1.5"
2倍	"ZOOM X2"
4倍	"ZOOM X4"
オフ (通常)	"ZOOM OFF"

リスト画面を表示中は操作できません。リスト画面を閉じてください。(27ページ)

2 表示位置を動かす

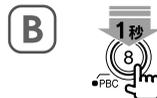


ズーム倍率をオフに設定すると表示位置を動かすことはできません。

タイトル情報表示

DVDのディスクやタイトル内の情報を表示します。

1 タイトル情報画面を表示します



リスト画面を表示中は操作できません。リスト画面を閉じてください。(27ページ)

2 見たいタイトルを選択します

タイトルを切り替える



すばやくタイトルを切り替える



タイトル情報画面をやめるには…



停止状態になります。

PBC (プレイバックコントロール) を使う

プレイバックコントロールが記録されているビデオCDで使用できます。(PBC機能オン中)

1 アイテムを選択します



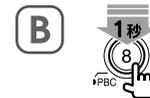
2 アイテムを決定します



PBCの操作についてはディスクの取扱説明書をご覧ください。

PBC (プレイバックコントロール) 機能を設定する

プレイバックコントロールが記録されているビデオCDでは、PBC機能を使用するか選択できます。

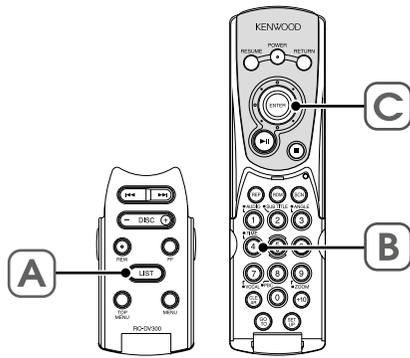


1秒以上押すたびに次のように替わります。

設定	表示
PBC機能オン	"PBC ON"
PBC機能オフ	"PBC OFF"

リスト画面を表示中は操作できません。リスト画面を閉じてください。(27ページ)

時間の表示 / リストの操作

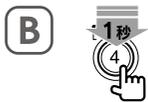


<ディスクリスト画面>



カーソール (黄色帯)

再生時間の表示切り替え



押すたびに次のように再生時間が替わります。

● DVDのチャプター時間はソフトにより表示できない場合があります。

OSDの表示切り替え

DVDの場合

再生時間	表示
タイトル経過時間	"TITLE### CHAPTER####"
タイトル残時間	"TITLE REMAIN"
チャプター経過時間	"CHAPTER ELAPSED"
表示を消す	"OFF"

ビデオCD [PBC ON] の場合

再生時間	表示
トラック経過時間	"SINGLE ELAPSED"
表示を消す	"OFF"

ビデオCD [PBC OFF] の場合

再生時間	表示
トラック経過時間	"SINGLE ELAPSED"
ディスク経過時間	"TOTAL ELAPSED"
ディスク残時間	"TOTAL REMAIN"
表示を消す	"OFF"

オーディオCDの場合

再生時間	表示 / インジケータ
トラック経過時間	"SINGLE ELAPSED" / "P-TIME"
ディスク経過時間	"TOTAL ELAPSED" / "A-TIME"

ディスク残時間	"TOTAL REMAIN" / "R-TIME"
---------	---------------------------

MP3の場合

再生時間	表示
ファイル経過時間	"CHAPTER ELAPSED" / "P-TIME"
ファイル残時間	"CHAPTER REMAIN" / "R-TIME"

リスト画面の表示切り替え

DVDの場合

再生時間	インジケータ
タイトル経過時間	"A-TIME"
タイトル残時間	"R-TIME"
チャプター経過時間	"P-TIME"

ビデオCD [PBC ON] の場合

再生時間	インジケータ
トラック経過時間	"P-TIME"

ビデオCD [PBC OFF]、オーディオCDの場合

再生時間	インジケータ
トラック経過時間	"P-TIME"
ディスク経過時間	"A-TIME"
ディスク残時間	"R-TIME"

MP3の場合

再生時間	インジケータ
ファイル経過時間	"P-TIME"
ファイル残時間	"R-TIME"

リスト画面の操作

1 リスト画面を表示します



最初は、ディスクリスト画面になります。

2 ディスクを選びます



カーソールを再生したいディスクに合わせます。

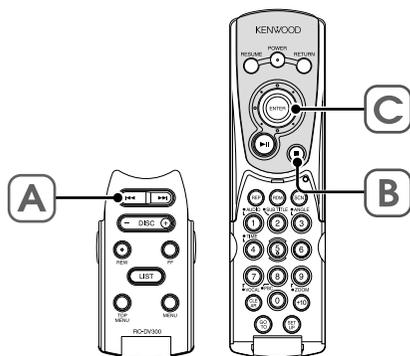
3 ディスクを選択します



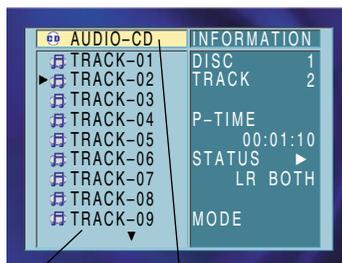
ディスク	内容
DVD	DVDの再生が始まります。
ビデオCD	ビデオCDの再生が始まります。
オーディオCD	オーディオCDの再生が始まります。「トラックリスト画面の操作」をご覧ください。
MP3	MP3の再生が始まります。「ファイルリスト画面の操作」をご覧ください。

リスト画面をやめるには…





<トラックリスト画面>



トラックリスト
ディスクタイトル

<ファイルリスト画面>



ファイルリスト
ディスク/フォルダタイトル

オーディオCDのトラックリスト画面の操作

1 オーディオCDを再生します

「リスト画面の操作」を参照してオーディオCDを再生します。

2 トラックリスト画面に切り替えます



再生しているオーディオCDにカーソルを合わせてからボタンを押します。

トラックリストにカーソルを移動する



左右に動かすごとにディスクタイトルとトラックリストにカーソルが移動します。

3 トラックを選択します

トラックを選ぶ



トラックを選択する



選択したトラックの再生が始まります。

トラックリストをスクロールするには…

再生を停止します。



トラックリストをスクロールします



ディスクリスト画面に戻るには…

ディスクタイトルにカーソルを移動する



ディスクタイトルで選択する



ディスクリスト画面に戻ります。

MP3のファイルリスト画面の操作

1 MP3を再生します

「リスト画面の操作」を参照してMP3を再生します。

2 ファイルリスト画面に切り替えます



再生しているMP3メディアにカーソルを合わせてからボタンを押します。

ファイルリストにカーソルを移動する



左右に動かすごとにディスク/フォルダタイトルとファイルリストにカーソルが移動します。

3 ファイル/フォルダを選択します

ファイル/フォルダを選ぶ



ファイル/フォルダを選択する



項目	内容
🎵 (ファイル)	ファイルを再生します
📁 (フォルダ)	レベルが下のフォルダに移動します
“⋮”	レベルが上のフォルダに移動します

トラックリストをスクロールするには…

再生を停止します。



トラックリストをスクロールします



ディスクリスト画面に戻るには…

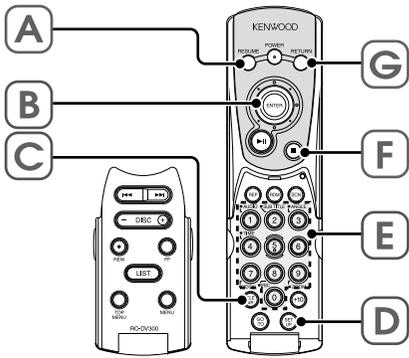
ディスク/フォルダタイトルにカーソルを移動する



ディスク/フォルダタイトルで選択する



項目	内容
MP3 (ディスク)	リスト画面に戻ります
📁 (フォルダ)	レベルが上のフォルダに移動します



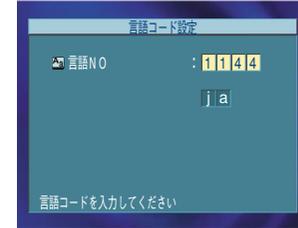
<初期設定画面>



<言語設定画面>



<言語選択画面>



初期設定

好みに合わせて本機の設定を変更します。

1 再生を停止します



2 初期設定にします



3 設定したい項目を選択します



詳しい設定項目は各操作説明をご覧ください。

設定項目	
言語設定	30 ページ
オーディオ設定	33 ページ
画面設定	34 ページ
パレンタル設定	34 ページ
設定終了	設定を終了します

4 項目を設定します



5 初期設定を終了します

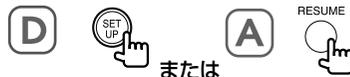
「設定完了」を選択する



設定を登録して終了する



途中でやめるには…



言語設定

優先する言語を選択します。

1 “言語設定” を選びます

“初期設定”を参照して言語設定を選択します。

2 言語を設定します

項目を選ぶ



項目を選択する



音声言語

音声言語を設定します。

表示	設定
例; "ja"	言語選択画面に替わります
"オリジナル"	ディスクの標準言語

字幕言語

字幕言語を設定します。

表示	設定
例; "ja"	言語選択画面に替わります
"オリジナル"	ディスクの標準言語
"切"	字幕を表示しません

メニュー言語

メニュー言語を設定します。

表示	設定
例; "ja"	言語選択画面に替わります
"オリジナル"	ディスクの標準言語

初期設定言語

設定画面などの表示言語を設定します。

表示	設定
"日本語"	日本語になります
"ENGLISH"	英語になります

メインページへ

初期設定画面に戻ります。

言語選択画面

設定したい言語をコードで入力します。

1 言語コードを入力します



言語コード表 (32 ページ) を参照して4桁の数字を入力します。4桁のコードが正しいと2文字の略語で言語名を表示します。

2 設定します



設定を変更して言語設定画面に戻ります。

前の画面に戻るには…



設定を変更せずに前の画面に戻ります。

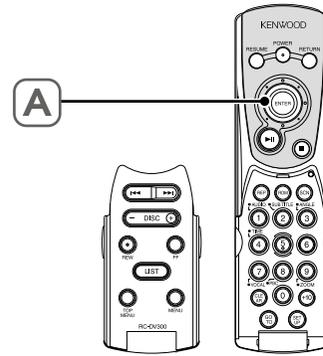
入力したコードを消すには…



言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	aa アファル語	1239	ie 国際語	1482	rn キルディ語
1028	ab アブバジア語	1245	ik Inupiak語	1483	ro ルーマニア語
1032	af アフリカーンス語	1248	in インドネシア語	1489	ru ロシア語
1039	am アムハラ語	1253	is アイスランド語	1491	rw キニヤルワンダ語
1044	ar アラビア語	1254	it イタリア語	1495	sa サンスクリット語
1045	as アッサム語	1257	iw ヘブライ語	1498	sd シンド語
1051	ay アイマラ語	1261	ja 日本語	1501	sg サング語
1052	az アゼルバイジャン語	1269	ji イディッシュ語	1502	sh セルビアクロアチア語
1053	ba バシキール語	1283	iw ジャワ語	1503	si シンハラ語
1057	be ベラルーシ語	1287	ka グルジア語	1505	sk スロバキア語
1059	bg ブルガリア語	1297	kk カザフ語	1506	sl スロベニア語
1060	bh ビハール語	1298	kl グリーンランド語	1507	sm サモア語
1061	bi ビスマラ語	1299	km カンボジア語	1508	sn ショナ語
1066	bn ベンガル語、バングラ語	1300	kn カンナダ語	1509	so ソマリ語
1067	bo チベット語	1301	ko 韓国語	1511	sq アルバニア語
1070	br ブルトン語	1305	ks カシミール語	1512	sr セルビア語
1079	ca カタロニア語	1307	ku クルド語	1513	ss シスワティ語
1093	co コルシカ語	1311	ky キルギス語	1514	st セストウ語
1097	cs チェコ語	1313	la ラテン語	1515	sv スウェーデン語
1103	cy ウェールズ語	1326	ln リンガラ語	1516	sw スワヒリ語
1105	da デンマーク語	1327	lo ラオス語	1517	sw スワヒリ語
1109	de ドイツ語	1332	lt リトアニア語	1521	ta タミール語
1130	dz ブータン語	1334	lv ラトビア語、レット語	1525	te テルグ語
1142	el ギリシャ語	1345	mg マダガスカル語	1527	tg タジク語
1144	en 英語	1347	mi マオリ語	1528	th タイ語
1145	eo エスペラント語	1349	mk マケドニア語	1529	ti ティグリニャ語
1149	es スペイン語	1350	ml マラヤーラム語	1531	tk トウルクメン語
1150	et エストニア語	1352	mn モンゴル語	1532	tl タガログ語
1151	eu バスク語	1353	mo モルダビア語	1534	tn セツワナ語
1157	fa ペルシャ語	1356	mr マラータ語	1535	to トング語
1165	fi フィンランド語	1357	ms マレー語	1538	tr トルコ語
1166	fj フィジー語	1358	mt マルタ語	1539	ts ツォンガ語
1171	fo フェロー語	1363	my ミャンマー語	1540	tt タタール語
1174	fr フランス語	1365	na ナウル語	1543	tw トウィ語
1181	fy フリジア語	1369	ne ネパール語	1557	uk ウクライナ語
1183	ga アイランド語	1376	nl オランダ語	1564	uz ウルドゥー語
1186	gd スコットランドゲール語	1379	no ノルウェー語	1572	uz ウズベク語
1194	gl ガルシア語	1393	oc プロバンス語	1581	vi ベトナム語
1196	gn グアラニ語	1403	om (アフアン) オロモ語	1587	vo ボラビュク語
1203	gu グジャラート語	1408	or オリヤー語	1613	wo ウォロフ語
1209	ha ハウサ語	1417	pa バンジャブ語	1632	xh コーサ語
1217	hi ヒンディー語	1428	pl ポーランド語	1665	yo ヨルバ語
1226	hr クロアチア語	1435	ps パシュトー語	1684	zh 中国語
1229	hu ハンガリー語	1436	pt ポルトガル語	1697	zu ズール語
1233	hy アルメニア語	1463	qu ケチュア語		
1235	ia 国際語	1481	rm ラエティ=ロマン語		

<オーディオ設定画面>



オーディオ設定

1 "オーディオ設定" を選びます

"初期設定" を参照してオーディオ設定を選択します。

2 オーディオを設定します

項目を選ぶ



項目を選択する



ダイナミックレンジ

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDの再生音域を設定します。

表示	設定
"圧縮しない"	標準の音域で再生します
"圧縮する"	小さい音量でも迫力のある音で再生します

音声出力設定

接続するオーディオ機器に合わせて設定します。

表示	設定
"アナログ出力"	センターユニットやRCAケーブルで接続する場合
"光出力：RAW"	ドルビーデジタルやDTSデコーダーに接続する場合

"光出力：PCM" ドルビーデジタルやDTSデコーダーが無いデジタルオーディオ機器に接続する場合

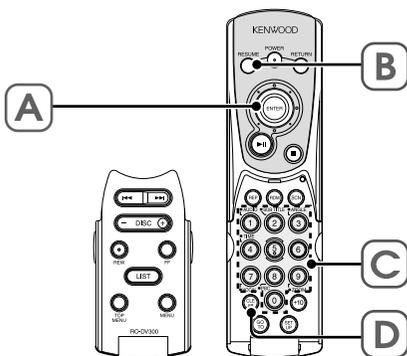


ドルビーデジタルまたはDTSデコーダを内蔵していないデジタルオーディオ機器を接続した場合は"光出力：PCM"に設定してください。"光出力：RAW"に設定すると、大きな音や雑音が出て故障の原因になる場合があります。

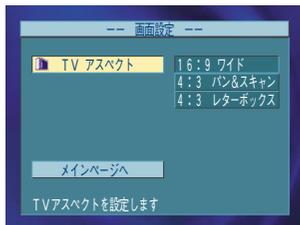
- "アナログ出力"：アナログ信号を出力します。デジタル信号は出力しません。
- "光出力：RAW"：ドルビーデジタルまたはDTSを再生した場合はビットストリーム信号を出力します。MPEGまたはリニアPCMを再生した場合はPCMで出力します。アナログ信号は出力しません。
- "光出力：PCM"：ドルビーデジタル、MPEGまたはリニアPCMを再生した場合はPCMで出力します。DTSを再生した場合は出力しません。また、アナログ信号は出力しません。

メインページへ

初期設定画面に戻ります。



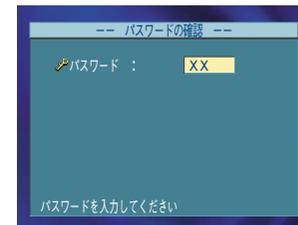
<画面設定画面>



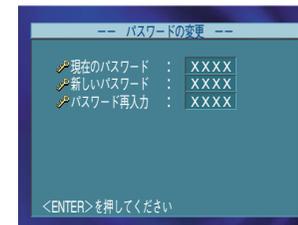
<パレンタル設定画面>



<パスワードの確認画面>



<パスワードの変更画面>



画面設定

1 “画面設定” を選びます

“初期設定”を参照して画面設定を選択します。

2 アスペクトを設定します

項目を選ぶ



項目を選択する



TVアスペクト

接続するモニターに合わせて設定します。

表示	設定
"16:9 ワイド"	ワイド版の映像の場合に選択します
"4:3 パン&スキャン"	パン & スキャン方式 (左右の切れた画面) でワイド版の映像を再生する場合に選択します
"4:3 レターボックス"	レターボックス方式 (上下に黒い帯がある画面) でワイド版の映像を再生する場合に選択します

メインページへ

初期設定画面に戻ります。

パレンタル設定

1 “パレンタル設定” を選びます

“初期設定”を参照してパレンタル設定を選択します。

2 パレンタルレベルを設定します

項目を選ぶ



項目を選択する



レベル

視聴制限のレベルを設定します。

表示	設定
"オフ"	視聴制限を解除します
"8"	全てのソフトが再生可能
"7"から"2"	数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります
"1"	子供向けのみ再生可能

レベルを変更するとパスワードの確認画面に替わります。

パスワードの確認

パスワードを入力します



決定します



正しいパスワードを入力すると設定を登録してパレンタル設定画面に戻ります。

- [D] を押すと入力したパスワードを消すことができます。
- 初期設定は“0000”です。
- 前の画面に戻るときは [B] を押します。

パスワードの変更

パスワードを入力します



決定します



“現在のパスワード”：現在の正しいパスワードを入力します。

“新しいパスワード”：変更するパスワードを入力します。

“パスワード再入力”：確認のため変更するパスワードをもう一度入力します。

- [D] を押すと入力したパスワードを消すことができます。
- 前の画面に戻るときは [B] を押します。

メインページへ

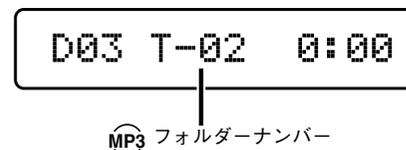
初期設定画面に戻ります。

- 再生している場面で設定した規制レベルより高い場合には、視聴規制設定画面が表示されます。パスワードを入力しないと、再生が継続されず、別のレベルの映像が再生されます。
- 規制レベルはディスクにより異なります。
- 視聴規制のないディスクでは視聴規制を設定しても、再生は制限されません。

<センターユニットの表示例>



<フォルダー選択モード中の表示例>



再生を始める

[SRC] (ソース選択)

本機のディスクチェンジャーモードを選択します。

- フロント用ビデオ出力は、パーキングブレーキをセットしないと映像を出力しません。
- MP3を記録したディスクはメディアを確認するため、再生が始まるまで若干の時間がかかります。
- チャプターナンバー、ファイルナンバーが"100"または"200"のとき、センターユニットによってはナンバーが表示されない場合があります。
- センターユニットの操作についてはセンターユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。
- センターユニットで本機のソースモードを選択するとセンターユニットに連動して動作します。
- センターユニットが本機のソース選択前
 - リモコンで電源をオン/オフします。
- センターユニットが本機のソース選択後
 - 本機のソースモードを選択すると電源が入ります。
 - 本機のソースモード以外を選択すると電源が切れます。
 - リモコンでは電源を切ることはできません。

一時停止

[▶||] (プレイ/ポーズ)

もう一度押すと通常の再生に戻ります。

- ディスクによっては動作しない場合があります。
- MP3ファイルを再生時は「フォルダーを切り替える」モードになります。(37ページ)

再生するディスクを切り替える

[DISC -] (ディスクダウン) [DISC +] (ディスクアップ)

押すたびにディスクが順に替わります。

再生する曲/チャプターを切り替える

[|◀◀] (トラックダウン) [▶▶] (トラックアップ)

押すたびに次のように替わります。

ディスク	動作
DVD	チャプターが順に替わります
ビデオCD[PBC ON]	セレクトが順に替わります
ビデオCD[PBC OFF]	トラックが順に替わります
オーディオCD	
MP3	ファイルが順に替わります

早送りと早戻し

[|◀◀] (トラックダウン) [▶▶] (トラックアップ)

押し続けている間、6倍速で早送り/早戻しします。

- 早送り/早戻し中は、DVDとビデオCDの音声は出力されません。

フォルダーを切り替える

1 フォルダー選択モードにします

[▶||] (プレイ/ポーズ)

- フォルダー選択モード中は、ファイルナンバー表示がフォルダーナンバー表示に替わります。

2 フォルダーを切り替えます

[DISC -] (ディスクダウン) [DISC +] (ディスクアップ)

押すたびにフォルダーが順に替わります。

3 フォルダーを決定します

[▶||] (プレイ/ポーズ)

選択したフォルダー内の1曲目のファイルから再生します。

トラックスキャン

ディスク内のトラックの先頭を約10秒間ずつ次々と再生します。ビデオCDはPBC機能オフのとき操作できます。

1 スキャンを開始します

[SCAN] (トラックスキャン)

1曲目からスキャンを開始します。

2 聴きたい曲のところで...

[SCAN] (トラックスキャン)

通常の再生に戻ります。

<センターユニットの表示例>



繰り返し再生する

ビデオCDはPBC機能オフのとき操作できます。

[REP] (トラックリピート)

トラックリピートをオンにすると次のように繰り返し再生します。

ディスク	動作
DVD	チャプターを繰り返し再生します
ビデオCD	トラックを繰り返し再生します
オーディオCD	ます
MP3	ファイルを繰り返し再生します

[D-REP] (ディスクリピート)

ディスクリピートをオンにすると次のように繰り返し再生します。

ディスク	動作
DVD	タイトル内を繰り返し再生します
MP3	フォルダー内を繰り返し再生します

ランダム再生 (VCD CD MP3)

ビデオCD、オーディオCDはディスク内のトラックをMP3はフォルダー内のファイルをランダムな順に再生します。(ビデオCDはPBC機能オフのとき操作できます。)

[RDM]

押すたびにランダム再生がオン/オフします。

- ▶▶ (トラックアップ)を押すと次の曲をランダムに選曲します。
- ◀◀ (トラックダウン)を押すと現在の曲を最初から再生します。

マガジンランダム再生

本機ではマガジンランダム再生はできません。

ディスクネームプリセット (DNPS)

本機に登録できるディスクネームは、12文字で29枚までです。
センターユニットによってはディスクネームプリセットできない場合や登録できる文字数や枚数が異なることがあります。

- DVDとMP3ファイルを記録したディスクは、各メディア名として1つのみ登録できます。

再生したい場所を直接選ぶ (ダイレクトトラックサーチ)

- 再生したいナンバーを入力します

[ナンバーボタン]

ディスク	ナンバー入力
DVD	チャプターナンバーを入力します
ビデオCD	トラックナンバーを入力します
オーディオCD	ます
MP3	ファイルナンバーを入力します

センターユニットからは99まで指定できます。

- トラック/チャプターを探します

[◀◀] (トラックダウン) /
[▶▶] (トラックアップ)

ディスクを直接選ぶ (ダイレクトディスクサーチ)

- ディスクナンバーを入力します

[ナンバーボタン]

ディスクナンバーを入力します。

- ディスクを探します

[DISC -] (ディスクダウン) /
[DISC +] (ディスクアップ)

困ったときは (操作について)

電源が入らない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コードなどの接続が間違っている。
- リモコン受光部が動作していない。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(50ページ)を見て正しく接続し直してください。
- 「接続」(50ページ)を見てリモコン受光部を正しく接続し直してください。

電源が切れない

- センターユニットに接続して本機のソースモードを選択している。
- センターユニットが操作中のため電源が切れません。センターユニットで本機以外のソースモードに替えると電源が切れます。

電源が勝手に切れる

- センターユニットに接続してソースモードを切り替えた。
- センターユニットで本機のソースモードを選択した後、ソースモードを本機以外に替えると電源が切れます。

映像が出ない

- パーキングブレーキ検出コードを接続していない。
- パーキングブレーキが引かれていない。
- NTSC/PALスイッチの設定を間違えている。
- 「接続」(50ページ)を見てパーキングブレーキ検出コードを正しく接続し直してください。
- パーキングブレーキを引かないとビデオの映像は見ることはできません。
- NTSC/PALスイッチは“NTSC”の設定のままご使用ください。

操作スイッチを押しても動作しない

- 画面に“⊘”が表示される。
- リモコンの電池が切れている。
- リモコン受光部が動作していない。
- 動作対象外のセンターユニットに接続している。
- ディスクにより禁止されている操作を行うことはできません。
- リモコンの乾電池を2本とも新しい乾電池に交換してください。
- 「接続」(50ページ)を見てリモコン受光部を正しく接続し直してください。
- 「接続するセンターユニットについて」(8ページ)をご覧ください。

センターユニットで本機のソースモードが選択できない

- 入出力ケーブルなどの接続が間違っている。
- 動作対象外のセンターユニットに接続している。
- 「接続」(50ページ)を見て正しく接続し直してください。
- 「接続するセンターユニットについて」(8ページ)をご覧ください。

音が出ない/音が小さい

- 入出力ケーブルなどの接続が間違っている。
- 音声出力を“アナログ出力”に設定していない。
- 「接続」(50ページ)を見て正しく接続し直してください。
- センターユニットやRCAケーブルで接続した場合は“アナログ出力”に設定してください。(33ページ)

ディスクのプレイ中に振動で映像/音が切れる

- 角度調節スイッチの設定が間違えている。
- 取り付けが不安定になっている。
- 角度調節スイッチを正しく設定してください。(53ページ)
- しっかりと取り付けし直してください。なお、駐車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

映像が乱れる

- 早送り/早戻ししている。
- 多少乱れることがありますが、故障ではありません。

DVDを選んで再生しない

- ディスクがセットされていない。
- ディスクが裏返しである。
- ディスクが異常に汚れている。
- 本機で再生できないディスクが入っている。
- 視聴制限がされている。
- プレイするディスクをセットしてください。
- レーベル面を下にして入れ直してください。
- 「ディスクの取り扱い」を見て、ディスクをクリーニングしてください。
- 再生できるディスクを確認してください。(44/45ページ)
- 視聴制限を解除、または規制レベルを変更してください。(34ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

- リピートがオンになっている。
- 「繰り返し再生する」(リピート)をオフにしてください。(21/38ページ)

音声言語/字幕言語/アングルが切り替わらない/優先言語にならない

- 複数の言語/字幕/アングルが記録されていない。
- メニューで切り替えられる場合がありますので、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ビデオCDでメニュー (P.B.C.) が出てこない

- ビデオCDにP.B.C. (プレイバックコントロール) が記録されていない。
- ビデオCDにP.B.C. (プレイバックコントロール) が記録されていると操作することができます。

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。

困ったときは (操作について)

MP3ディスク/MP3ファイルがプレイできない

- ISO9660 level1/2, または Joliet に準拠して記録されていない。
- MP3ファイルに拡張子が付いてない。
- ディスクに傷や汚れがある。

- ISO9660 level1/2, または Joliet (45ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- MP3ファイルに拡張子“.MP3”を付けてください。
- 「ディスクの取り扱い」(10ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3ファイルをプレイ中に音飛びする

ディスクに傷や汚れがある。

「ディスクの取り扱い」(10ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3ディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

MP3ファイル以外に拡張子が付いている。

MP3ファイル以外に“.MP3”拡張子は付けないでください。

フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

- ISO9660 level1/2, または Joliet に準拠して記録されていない。
- ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。
- 表示できない文字を使用している。

- ISO9660 level1/2, または Joliet (45ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。
- 漢字など表示できない文字は“_”で表示します。

MP3ファイルが順番どおりにプレイされない

プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

本機の状態を次の表示でお知らせします。

E-01 : EJECT

- ディスクマガジンがセットされていない。
 - ディスクマガジンが完全に入っていない。
- ディスクマガジンを正しくセットしてください。

NO DISC

ディスクマガジンにディスクが入っていない。



E-04

- ディスクが異常に汚れている。
 - ディスクに傷が多く付いている。
- ディスクをクリーニングしてください。
- ディスクが裏返しになっている。
- ディスクを正しくセットしてください。



E-15

- 再生できないフォーマットのディスクが入っている。
 - 認識できないディスクが入っている。
- ほかのディスクを使用してください。



E-99

再生できないフォーマットのファイルが入っている。

何らかの原因で正常に動作していない。

→ディスクマガジンに異常が無いか確認してください。センターユニットに接続している場合は、センターユニットのリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。



NO ACCESS チェンジャーにディスクマガジンをセットした後、一度も再生していないディスク。

このディスクはリージョンが違います

再生できないリージョンコードのDVDです。

困ったときは (DVDについて)

リージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。
DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVDディスクのマーク

記号	内容
	このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。リージョン番号を表します。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で観ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ(4:3)で見た場合、ワイド映像(16:9)は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

本機で再生できないディスク

以下のディスクは本機では再生できません。

- DVD-ROM/ DVD-R/ DVD-RW/ DVD-RAM
- S-VCD/ HQ-VCD ● CDV（音声のみ再生可能）
- CD-G/ CD-EG/ CD-EXTRA（音声のみ再生可能） ● フォトCD

操作規制マークについて

DVDやVCDディスクは、再生箇所により本機でのプレイ操作等規制される場合があります。このようなときは以下のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクの取扱説明書をご覧ください



本機には NTSCディスクを使用してください。

困ったときは (MP3について)

本機は、MP3ファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3ファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

使用できるメディア

使用できるMP3が収録されているメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子3文字を含む）です。

- ISO 9660 Level 1：12文字
 - ISO 9660 Level 2：31文字（ただし、本機で表示されるのは19文字です）
 - Joliet：64文字（ただし、本機で表示されるのは19文字です）
- 使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数：255（ファイル数+フォルダ数）
- 最大フォルダ数：50
- 最大フォルダ名：64文字（ただし、本機で表示されるのは19文字です）

上記のフォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。また、最大容量まで記録する場合は、追記禁止の設定をしてください。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字または半角カナ文字で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。ライティングソフトによっても正常に表示できない場合があります。

また、MP3ファイルと認識されてプレイされるファイルはMP3の拡張子（.MP3）が付いたものだけです。MP3ファイルには、MP3の拡張子を付けて保存してください。



MP3ファイル以外のファイルに、MP3の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。MP3ファイル以外のファイルに、MP3の拡張子を付けないようにしてください。

禁止

メディアに書き込むファイルについて

MP3が収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。また、次のMP3ファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。使用するメディアには、MP3ファイル以外のファイルや必要ないフォルダなどを書き込まないようにしてください。

困ったときは (用語について)

DTS : Digital Theater System

(デジタルシアターシステム)

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTSは6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

※ DTSサラウンドを楽しむには別売品のDTSデコーダーが必要です。また、DVDビデオソフトもDTSに対応したものをご使用ください。

MP3

(エムピイスリー)

正式名「MPEG1.0/2.0 Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本機にMP3が収録されたメディアを入れることにより聴くことができます。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「困ったときは (MP3について)」(45ページ)をご覧ください。

PBC (プレイバックコントロール)

本機は、プレイバックコントロール (PBC) 付き対応ビデオCD (バージョン2.0) に対応しています。

PBCとはディスクに記録されているメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を対話形式で楽しむことができることを言います。

タイトル

DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。各タイトルに付けられた番号をタイトルナンバーと呼びます。

チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。各チャプターに付けられた番号をチャプターナンバーと呼びます。

トラック

CDに収録されている曲の区切り (1曲分) をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラックナンバーと呼びます。

ドルビーデジタル

(Dolby Digital)

ドルビー研究所の開発したデジタル音声の圧縮技術です。5.1チャンネル・サラウンドに対応しています。すべてのチャンネルを完全に分離した形で記録されているため、大量の音声データを効率良くディスクに収められ、またデジタルのため劣化しにくい特長があります。

※ ドルビーデジタルを楽しむには別売品のドルビーデジタル対応機器が必要です。

ドルビープロロジック

ドルビーサラウンドの方式で2チャンネルに記録された4チャンネル信号を再生時に再び4チャンネル (フロントL/R、センター、リアサラウンド (モノラル)) の信号に戻すための装置です。

※ ドルビープロロジックを楽しむには別売品のドルビープロロジック対応機器が必要です。

リニアPCM音声(LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式。音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit~96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生ができます。

視聴規制 (パレンタルロック)

国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、全く再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

- ※ 本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合は除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。
- ※ ドルビーラポラトリーゼンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、ダブルD記号、およびプロロジックはドルビーラポラトリーゼンシングコーポレーションの商標です。
- ※ DTSは米国Digital Theater System, Inc.の登録商標です。

取り付け時のご注意

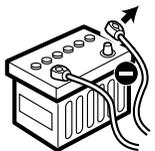
警告



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量以上であることを確認してください。また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

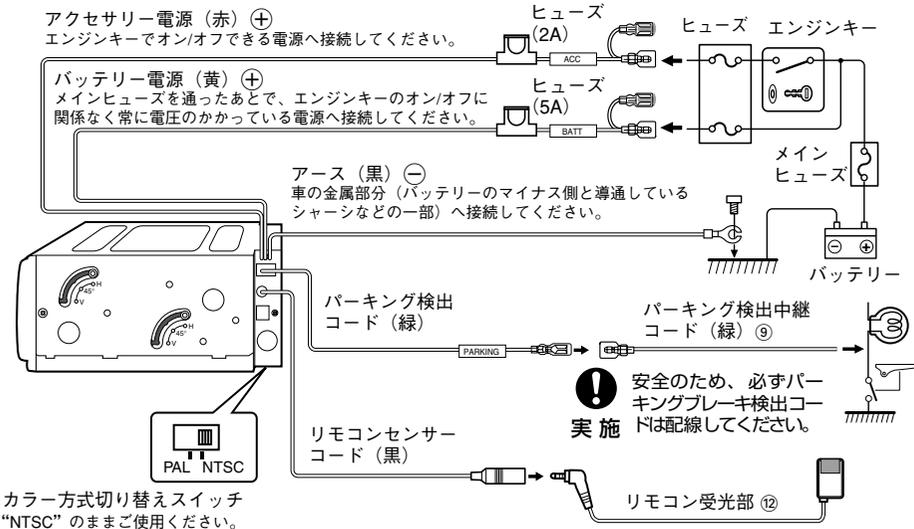
接続

! 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. パーキングブレーキ検出コードをパーキングブレーキに接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）を接続します。
5. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。

! **注意** ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

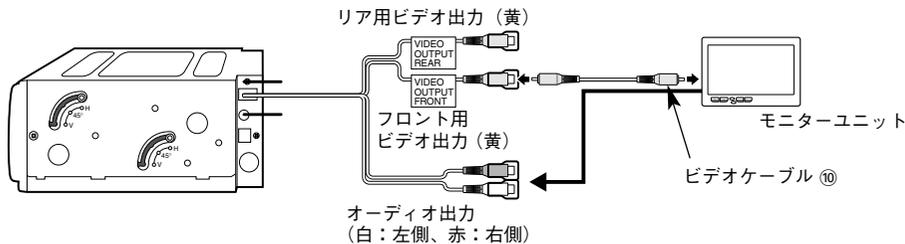


カラー方式切り替えスイッチ
"NTSC" のままご使用ください。

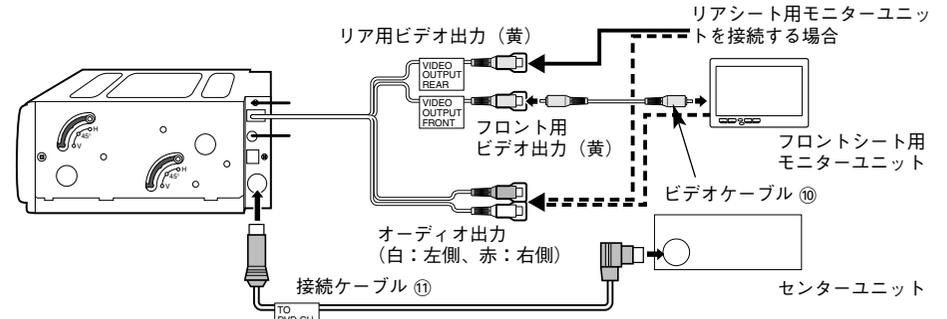
! **電源の接続上の注意**

- 実施
- アースコードは車両のシャーシへ確実に接続してください。
 - 他の機器との接続は電源/アースコードを接続後に行ってください。
 - センターユニットへの接続する場合も本機の電源/アースコードは必ず接続してください。

■ モニターに接続して本機を単独で使用する場合

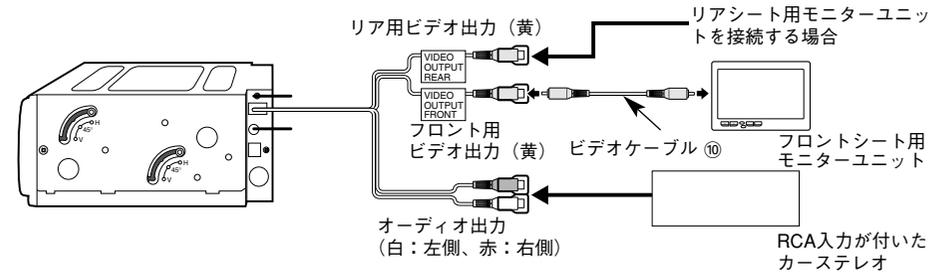


■ センターユニットに接続する場合

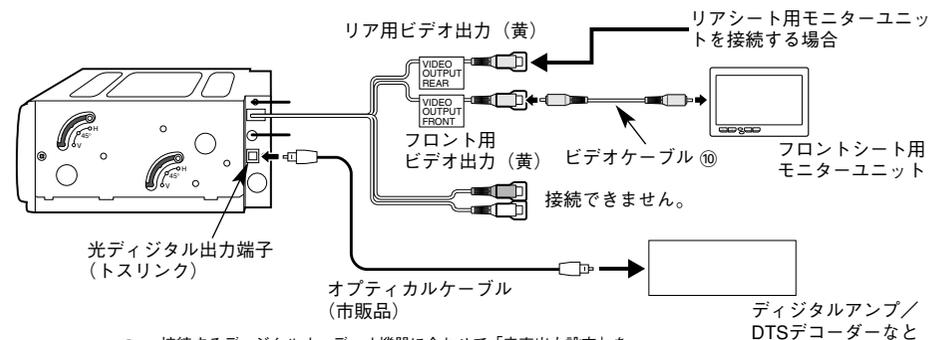


! センターユニットが本機のソースモードを選択していないときは、チェンジャー単独で使用できます。

■ RCA入力のカートオーディオに接続する場合



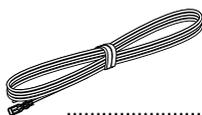
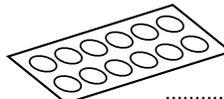
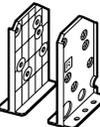
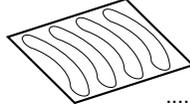
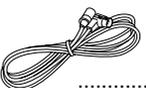
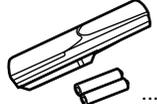
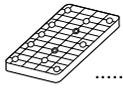
■ デジタルオーディオ機器に接続する場合



! 接続するデジタルオーディオ機器に合わせて「音声出力設定」を設定する必要があります。（33ページ）

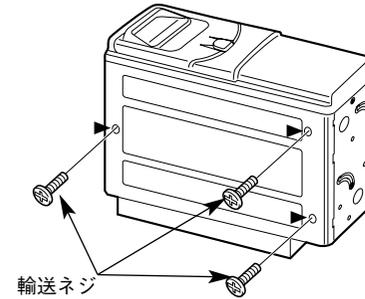
取り付け

■ 付属品

- | | | | | | | | | |
|---|--|--------|---|--|--------|---|--|--------|
| ① |  |1 | ⑨ |  |1 | ⑮ |  |1 |
| ② |  |1 | ⑩ |  |1 | ⑯ |  |1 |
| ③ |  |4 | ⑪ |  |1 | ⑰ |  |1 |
| ④ |  |6 | ⑫ |  |1 | ⑱ |  |1 |
| ⑤ |  |2 | ⑬ |  |4 | ⑲ |  |1 |
| ⑥ |  |2 | ⑭ |  |1 | | | |
| ⑦ |  |4 | | | | | | |
| ⑧ |  |4 | | | | | | |

! 取り付けには付属のネジを使用してください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

■ 輸送ネジを取り外します



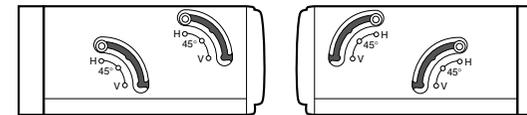
内部メカを守るために取り付けてある3本の輸送ネジを、本体の取り付けを始める前にすべて取り外します。

! 取り外した輸送ネジは大切に保管して、本体を輸送するときは必ず輸送ネジを取り付けてください。

ほこりが内部に入るのを防ぐため、輸送ネジを取り外した穴に防塵シール⑮を貼ります。

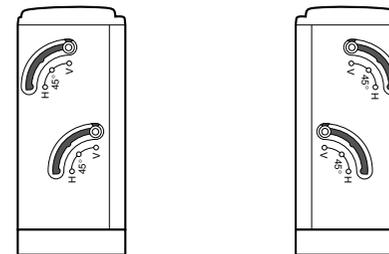
■ 角度調整ツマミの設定

● 水平に取り付ける場合



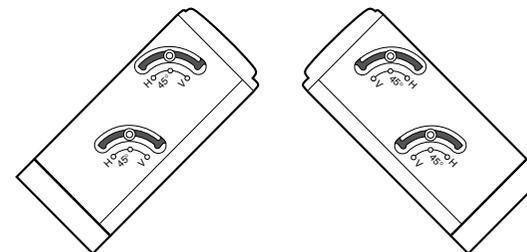
両側面にある角度調整ツマミを4カ所とも“H”に設定します。

● 垂直に取り付ける場合



両側面にある角度調整ツマミを4カ所とも“V”に設定します。

● 45度の角度で取り付ける場合

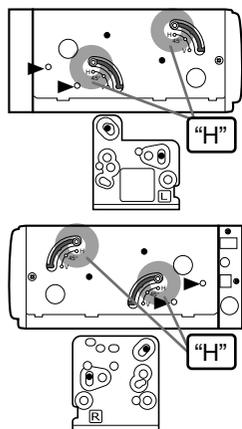


両側面にある角度調整ツマミを4カ所とも“45°”に設定します。

取り付け

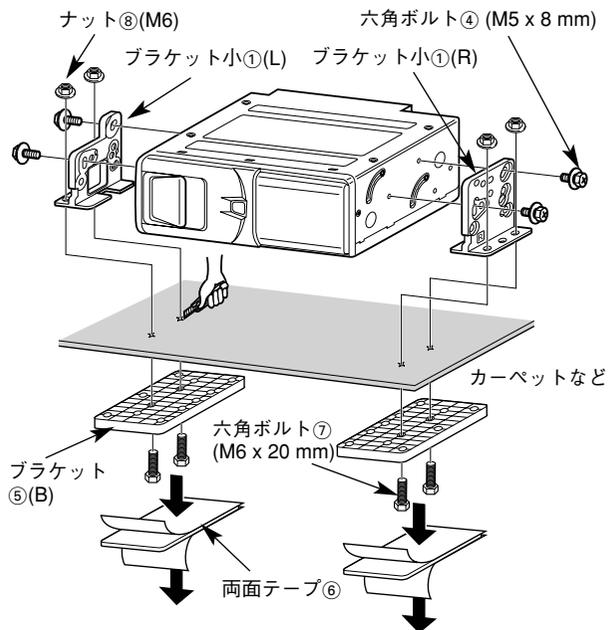
■ 水平に取り付ける場合

● 取り付ける前に

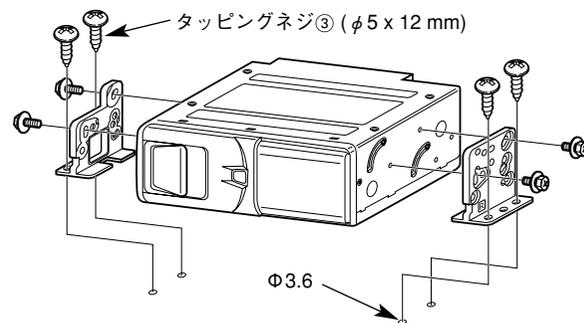


- 両側面にある角度調整ツマミを4カ所とも“H”に設定します。
- ほこりが内部に入るのを防ぐため、“▶”/“○”印の穴に防塵シール⑮/⑯を貼ります。
- ブラケット①の取り付けは“●”印の穴を使用します。

● プレートを使って取り付ける場合

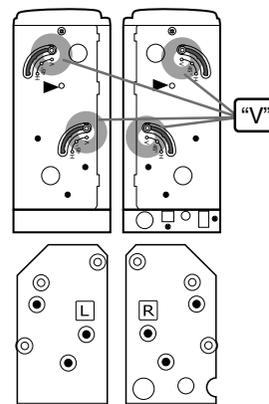


● タッピングネジで取り付ける場合



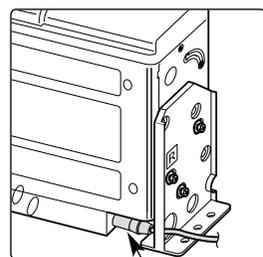
■ 垂直に取り付ける場合

● 取り付ける前に



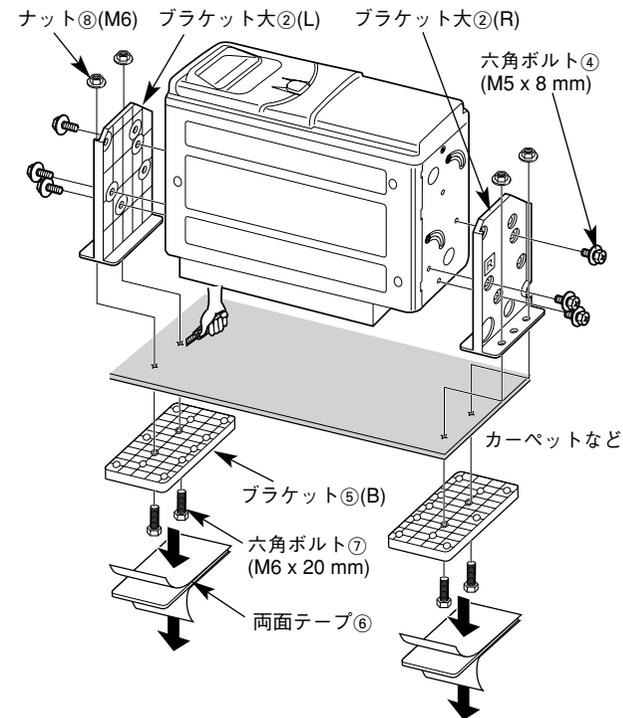
- 両側面にある角度調整ツマミを4カ所とも“V”に設定します。
- ほこりが内部に入るのを防ぐため、“▶”/“○”印の穴に防塵シール⑮/⑯を貼ります。
- ブラケット②の取り付けは“●”印の穴を使用します。

<センターユニットに接続する場合>

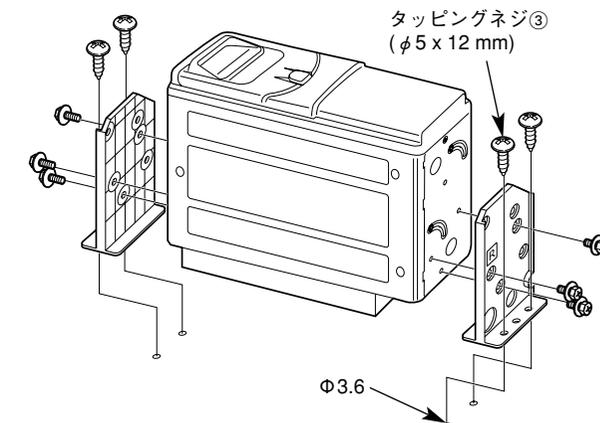


接続ケーブル⑪をブラケット②の穴を通して接続します。

● プレートを使って取り付ける場合



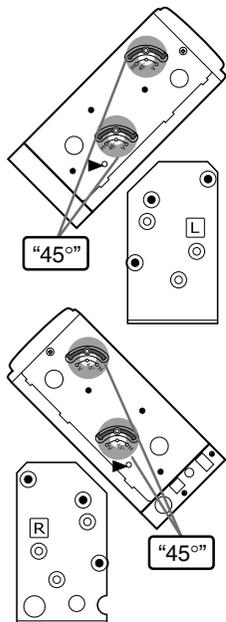
● タッピングネジで取り付ける場合



取り付け

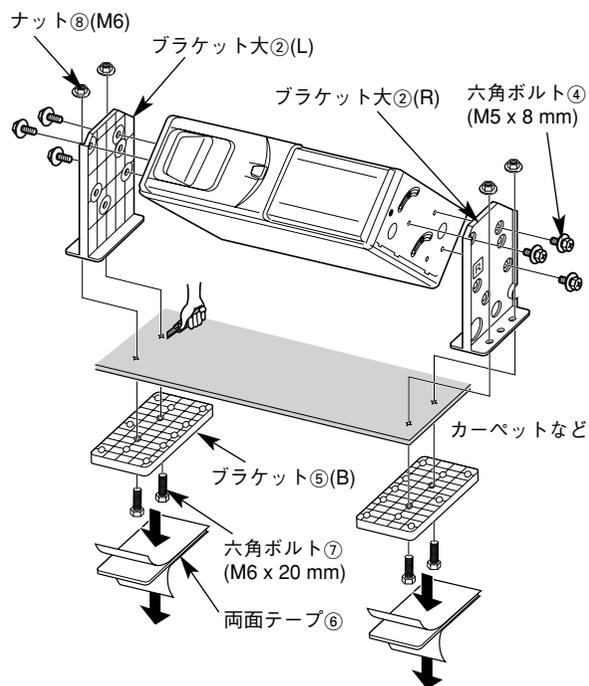
■ 45度の角度で取り付ける場合

● 取り付ける前に

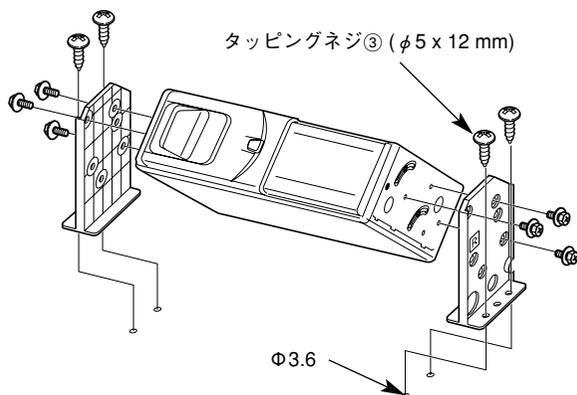


- 両側面にある角度調整ツマミを4カ所とも“45°”に設定します。
- ほこりが内部に入るのを防ぐため、“▶” / “○” 印の穴に防塵シール⑮/⑯を貼ります。
- ブラケット②の取り付けは“●” 印の穴を使用します。

● プレートを使って取り付ける場合

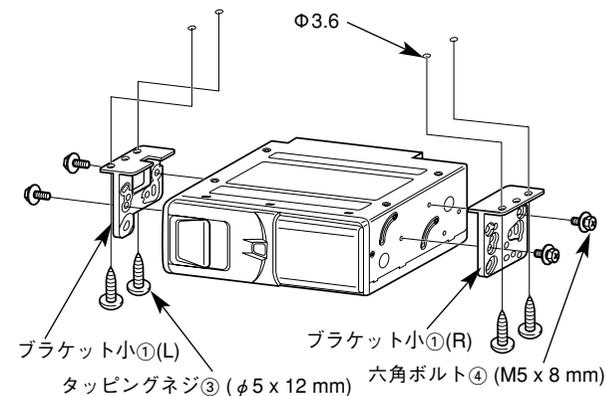
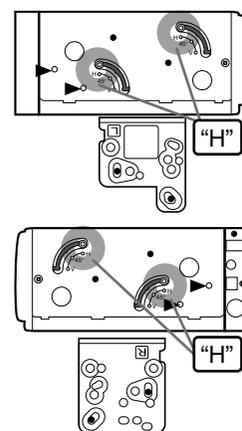


● タッピングネジで取り付ける場合



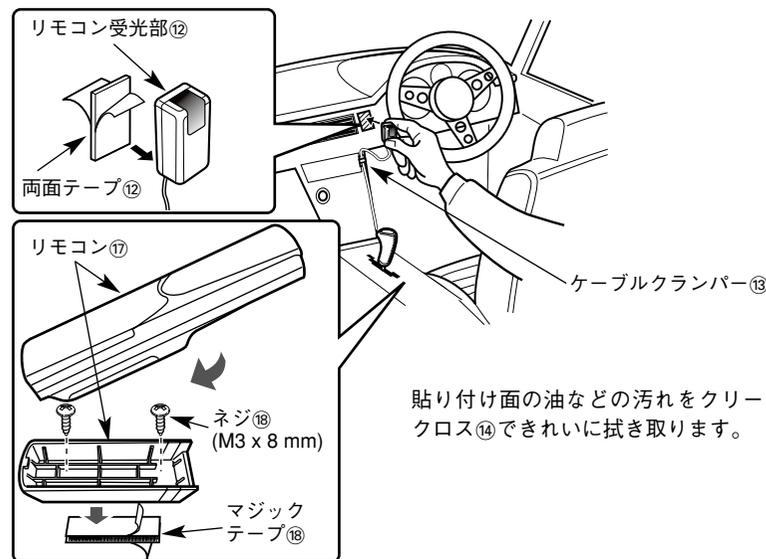
■ 吊り下げて取り付ける場合

● 取り付ける前に



- 両側面にある角度調整ツマミを4カ所とも“H”に設定します。
- ほこりが内部に入るのを防ぐため、“▶” / “○” 印の穴に防塵シール⑮/⑯を貼ります。
- ブラケット①の取り付けは“●” 印の穴を使用します。

■ リモコンの取り付け



貼り付け面の油などの汚れをクリーニングクロス⑭できれいに拭き取ります。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「困ったときは」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

プレーヤー部

D/Aコンバーター ワウ & フラッター 周波数特性(DVD96kHzサンプリング) 高調波歪率	8レベルΔΣ 測定限界以下 20 Hz~44 kHz 0.01 % (1 kHz)
S/N比 ダイナミックレンジ チャンネルセパレーション 対応ディスク MP3デコードフォーマット	110 dB 90 dB 90 dB DVD-VIDEO / VIDEO-CD / CD-DA / CD-ROM MPEG-1.0/2.0 Audio Layer-3 準拠

出力部

ビデオ出力 オーディオ出力レベル	1 V / p-p (75 Ω) 1.2 V / 10 k Ω
---------------------	------------------------------------

電源部

電源電圧 最大消費電流	14.4 V (11~16 V) 3 A
----------------	-------------------------

寸法・質量

寸法 (W×H×D) 質量 (重さ)	250×80×200 mm 2.8 kg
-----------------------	-------------------------

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。